

---

# (一社) 日本臨床耳鼻咽喉科医会

## 令和4・5年度 第3回 理事会議事録 (摘録)

### (臨床耳鼻科医会会議室及びZoom併用)

令和4年12月25日(日) 13:00~16:00

出席者 会長: 福興和正 副会長: 野上兼一郎、藤岡 治

理事: 朝比奈紀彦、麻生 伸、阿部博章、石谷保夫、香取幸夫、川島佳代子、小泉達朗、

杉山貴志子、高原哲夫、中澤 宏、永田博史、守本倫子、吉村 理

監事: 浅井英世、岩佐英之 (計18名) 事務局: 井出あゆみ、平間妙子

#### 会長挨拶

今期理事会が発足し7ヶ月が経過し、医会セッションや各委員会活動も順調に行われ、委員の諸先生方に感謝申し上げたい。本理事会では来年の医会セッションのテーマについて協議予定である。

#### 報告事項

各委員会からの報告は事前の配布資料に基づき要点のみとし、あとは質疑応答を行った。

##### 庶務委員会 (小泉理事)

- 第2回理事会議事録について。
- 前回理事会で課題とされた会員区分の見直しや会員情報管理については検討中。
- 会員数報告: (2022.12.25現在) A会員4430名・B会員2955名、合計7385名だった。  
入退会は入会174名、退会・異動172名であった。

##### 広報・渉外委員会 (中川理事)

- 8月26日に第1回委員会を開催し、HPの充実、日耳鼻との合同委員会での取り決め、掲載ルールの確立について協議した。

##### 経理・会員福祉委員会 (高原理事)

- 今期11月迄の会計収支について報告した。資産は約7600万、収入は会費収入が主で4400万、支出は主に事務局家賃と人件費、会場費、司法書士への支払い等であった。
- 10月4日に第1回委員会を開催した。

##### 地域医療委員会 (川島理事)

第7回新型コロナウイルス感染拡大に伴う外来診療アンケート調査について報告を行った。収入は平均でコロナ禍前の水準に回復したが、6割の医療機関で発熱外来を開設しておりその有無により収入に差が認められた。

##### 保険医療委員会 (杉山理事)

- 日耳鼻との合同委員会の形で第2回・第3回に続き12月15日に第4回を開催した。
- 味覚検査用のディスクが製造中止となり、代替品について製造メーカーへの働きかけ等も行っている。
- 前回理事会で承認された、保険医療での耳鼻咽喉科DXに対するWGと耳鼻咽喉科診療報酬体系の見直しWGを立ち上げ、それぞれ第1回委員会をWebで開催した。

### 学校保健委員会（朝比奈理事）

1. 第2回学校保健委員会を9月25日、第3回を11月4日に開催した。
2. 日本学校保健会の理事に野上理事を推薦した。日本医師会学校保健委員会の委員には朝比奈理事が推薦され既に活動中である。
3. 日耳鼻の「ヘッドホン・イヤホン難聴WG」で学校関係者に対する難聴対策の啓発の方法・手段について協議した。
4. 健康教育実践のためのツール作成については作成中。
5. 大学入試試験における難聴生徒への配慮に関する医師の意見の記入法を周知する方法について協議した。
6. 日本医師会の第1回学校保健委員会が11月30日開催され、「地域に根差した医師の活動である学校医活動を推進させるための具体的な方策は何か」についての答申、文科省「学校保健に関する中央情勢報告」がなされた。
7. 学校医の数については地域差が大きいのが現状であり、いずれ全国調査を検討する事とした。

### 福祉医療委員会（麻生理事）

1. 第1回成人老年委員会を8月26日にWeb開催した。

全国身体障害者福祉医療講習会と補聴器キーパーソン全国会議は、現在各都道府県医会で持ち回り開催だが、令和6年第49回からは日耳鼻の成人老年委員会主催で首都圏と関西圏とで隔年で交互開催となる予定である。
2. 乳幼児委員会は8月26日第1回、10月6日第2回を、12月15日に第3回が開催された。
  - (1) 新生児聴覚スクリーニング検査について、各市町村単位での公費補助など実施状況の調査を行っている。
  - (2) 小児難聴相談医制度の創設についての検討も行っているが、日耳鼻理事会でもWG立ち上げが了承され検討中。

### 医事問題委員会（阿部理事）

- 第2回委員会を9月14日、第3回委員会を10月27日に日耳鼻との合同で開催した。
1. 令和4年度医事問題委員会ワークショップ及び全国会議を令和5年1月28日（土）、医事問題セミナーは翌29日（日）に開催予定。
  2. 令和5年度以降の医事問題セミナーの開催時期を、秋季大会開催時へ変更する事を決定した。
  3. 医療事故に関するアンケート調査のデータベースの取り扱いについて協議した。

### 勤務医委員会（永田理事）

- 12月22日、日耳鼻の第1回「専門医育成・活用WG」が開催された。
1. 「活用」については定年等で離職している医師の再就職と適切な地域への配置など、全国の大学や基幹病院で医師の受け入れ可能な部署の情報の取りまとめを行っている。
  2. 「育成」については大都市圏の勤務医で手術経験が少ない若手医師を、症例経験を得やすい地方へ一時的に移動する事で、同時に医師の偏在の緩和の改善も図るなどの施策を検討した。

### 学術委員会（吉村理事）

1. 第3回臨床医会セッションを11月6日秋季大会にて開催した。参加者はセッション1が現地参加70名・配信視聴66名、セッション2は現地137名・配信93名であった。
2. 令和5年度医会セッションのテーマを公募したところ17都道府県医会より返答が得られ、うち13医会よりテーマの提案があった。
3. 第2回学術委員会を11月18日に開催した。
4. 第1回軽度嚙下障害WGを10月25日に、第2回を11月22日に開催した。

## 会報委員会（石谷理事）

### 1. 「日本臨床耳鼻咽喉科医会会報」第3巻1号作成について

予定原稿は入稿済みである。今後著者校正、会報委員会による初校校正を経て編集し令和5年3月20日発行予定。

### 2. 臨床医会セッションの講演要旨作成作業支援について

ビデオの文字起こしを（有）大阪早稲田速記に依頼した。料金は88,000円であったことが報告された。

## 協議事項

### 1. 今後の耳鼻咽喉科医療のあり方の提言について（福興会長）

武見敬三参議院議員に「今後の耳鼻咽喉科医療のあり方」を諮問する事が提案された。提言の意義について説明があり、審議を行った。具体的な提言内容については今後検討する事とした。

### 2. 議員を対象とした聴力検査について（福興会長）

標記について素案の説明があり、これを承認した。

- (1) 聞こえ・難聴に対する理解を深め Japan Hearing Vision の取り組みを加速する。
- (2) 難聴フレイル、難聴対策の重要性をアピールする。
- (3) 難聴対策の現況を周知する。

### 3. 令和6年度診療報酬改定における日医要望項目について（杉山理事）

日医要望項目案について説明があり、今後検討し拡大保険医療委員会にて協議する事を承認した。

- (1) 補聴器適応難聴指導管理料
- (2) 内視鏡下上咽頭処置
- (3) 前庭機能代償促進生活指導料
- (4) 耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料の年齢制限

等の要件緩和

- (5) 耳鼻咽喉科処置の増点（処置点数が外来管理加算を越えるよう）

- (6) 標準純音聴力検査の増点

- (7) 好酸球性副鼻腔炎指導管理料

- (8) 往診に係わる検査、処置の加算

- (9) 嚥下障害指導管理料 内視鏡下嚥下機能検査に合わせて

- (10) ネブライザーの増点

### 4. 第4回医会セッション委員の承認について（吉村理事）

標記の委員に野上副会長、吉村理事、石谷理事、永田理事が就任する事を承認した。

### 5. 「軽度嚥下障害患者さんへのパンフレット」改訂版と広告資材の承認について（吉村理事）

標記について説明があり、審議を行い、これを承認した。

### 6. 外来診察室掲示用ポスターの承認について（吉村理事）

標記について説明があり、審議を行い、これを承認した。

### 7. 嚥下パンフレットとマニュアルとポスターの会報同封の承認について（吉村理事）

嚥下パンフレット、マニュアル、ポスターを会報に同封し会員に郵送する事の説明があり、これを承認した。

### 8. 第4回医会セッション テーマと講師の選別について

令和5年11月18日（土）、19日（日）にパシフィコ横浜にて開催される第37回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会での医会セッションについて協議した。

### 9. その他

医薬品・医療機器の情報提供について

- (1) アレグラFXプレミアム®（藤岡副会長）
- (2) nodoca®
- (3) Nasaleze®